

箸 factory 宮 bow

# 磁石で楽々 介助用**箸**

## 箸factory宮bow (福井) 開発

障害者や高齢者の使いやすさを追求して商品化した箸「愛bow」



箸製造販売の「箸factory宮bow」(福井市西開発1丁目、宮保兄弟店主)は、身体障害者や高齢者向けに、持ちやすさも使いやすさを追求した箸「愛bow(あいぼウ)」を商品化し、販売を始めた。2

### 反発力生かし「離す」動作

本の箸の持ち手部分を連結。内側に磁石を付け、その反発力を使うことで、容易に二本を開くことができるのが特徴。一人一人の障害程度や手の大きさに応じてオーダーメイドでも製作する。(宇野和宏)

### 軽く丈夫、トチノキ製 オーダー製作も

手が不自由な人の介助用箸は流通しているが、連結部にバネを使用し、壊れやすいのが難点という。磁石は半永久的に使用可能で、磁石の量を調整できる。開く力も調節できる。宮保さんによると、こうした介助用品が必要な人は、「物をつまむ」動作より「つまんだ物を離す」動作が困難なケースが多くみられるという。磁石の反発力で「離す」動作をサポート。手や指への負担を和らげる点にもつながる。

握りやすい形状を追求した結果、外見は厚みがあり重量感があるように感じるが、実際には軽くて丈夫なトチノキを使用

しているため、重さはわずかに約45g。食事に時間が掛かる高齢者や身障者の負担にならないよう配慮した。木製のため、利用者の手にフィットする

よう削って形状を調節する「1mm」もある。2年前から身障者らの声を聞きながら試作を繰り返してきた宮保さんは「スプーンでなく箸で食べたい」という障害者も多く、そういう方に届けたい。箸で指先を使うことで脳の活性やほけ防止にも役立つ」と話している。価格は4200円から。問い合わせは同店☎090(13660)8888。